

生命・健康・暮らしを守るための行動を！

～美濃加茂市 オミクロン株 緊急事態宣言～

<期間：令和4年1月18日～まん延防止等重点措置期間>

全国的に新型コロナウイルス感染症が急増し、市内においても1月11日以降の直近1週間で93名の感染が確認されています。県下でも、人口10万人当たりの新規感染者数は最も多い市です。若い世代を中心に、帰省・成人式・同窓会などに関連した会食等で感染が拡がり、高校や保育園などでクラスターが発生している状況となっています。

このまま感染が拡大すると、医療体制がひっ迫する可能性もあり、市民の皆様
の生命・健康・暮らしを脅かす状態となります。感染力の強いオミクロン株であ
っても、マスクの着用、手指消毒、3密の回避、こまめな換気、体調不良時は行
動をストップすることで、基本的な感染防止は可能であると言われてています。

市民の皆様におかれましては、ご自身や大切な人の生命・健康・暮らしを守る
ため、基本的な感染防止対策の徹底はもちろんのこと、一人ひとりがこれまで以
上に強い自覚を持ち、感染拡大阻止のために、ご理解・ご協力いただきますよう
お願いいたします。

市民の皆様へ

1 基本的な感染防止対策の徹底

- ・マスクの着用（不織布マスクを推奨）
- ・手指消毒の徹底（帰宅時など頻繁な手洗い）
- ・3密の回避（密閉空間、密集場所、密接場面を避ける）
- ・体調不良時は行動ストップ
（発熱、喉の痛みなどの症状がある場合は、出勤・通学を含む行動を控
える）

2 飲食店利用時の留意事項

- ・普段会わない人との会食を回避
- ・飲食は短時間（2時間以内）、同一グループの同一テーブルでの5人以
上の会食を回避
- ・新型コロナ対策実施店舗向けステッカー掲示店舗の利用

事業者の皆様へ

- ・テレワークや時差出勤を推奨
- ・イベント開催時はワクチン接種証明等の確認など感染防止対策を徹底
- ・体調不良時や家族の感染疑い時など、休みやすい環境づくり
- ・飲食店においては、アクリル板の設置、消毒液の設置、マスク会食の
徹底、換気の徹底など

行政の対策強化のポイント

【感染防止対策の周知・徹底】

- ・ 県の非常事態宣言に合わせて、市長による行政防災無線での注意喚起
- ・ ホームページ、防災行政無線、すぐメール、Twitter、LINE を活用し、基本的な感染防止対策を周知・徹底するとともに、3 回目のワクチン接種の情報を周知する
- ・ 商工会議所を通じて、各事業者に対して基本的な感染防止対策の周知

【外国人市民に対する対策】

- ・ 外国人コミュニティ（施設、店舗、教会等）を通じた注意喚起
- ・ 外国人雇用企業（外国人労働者派遣事業者含む）に対する注意喚起
- ・ 防災行政無線、すぐメール、YouTube を活用し、英語、ポルトガル語、タガログ語で注意喚起
- ・ 外国人が集まる店舗等に、警察署等と連携して巡回指導

【公共施設の利用制限】

- ・ 屋内公共施設での会食禁止
- ・ 屋内公共施設の利用定員を 1 / 2 以下とし、定員の定めのない施設は施設面積を 4 m² で除した人数以下とする
- ・ 発熱など体調不良者の入館禁止（すべての屋内公共施設に非接触体温計の設置済）

【ワクチン接種】

- ・ 初回接種の未接種者に対する体制づくり（個別医療機関での接種）
- ・ 早期に 3 回目接種ができるよう、接種券の発行の前倒し
- ・ 小児（5 ～ 11 歳）が安心・安全に接種できるように医療機関と連携

【業務継続計画：BCP】

- ・ 市職員の 60 % が濃厚接触者または感染者となり、出勤停止となった場合、市民の生活に影響しないような体制づくりを見直す
- ・ 市内事業者に対して、想定される出勤率など事業継続計画を設定し、点検を徹底するように周知する

【その他】

- ・ 新しい生活様式に対応するため、ぴったりサービス等の電子申請を積極的に活用する

今後の経済対策

- ・ 市内の需要喚起を図るため、地域循環型の経済対策を検討します
- ・ 市内事業者の継続・発展を図るため、変化対応型の経済対策を検討します
- ・ キャッシュレス事業者との連携により、市独自のポイント還元を行い消費全体の底上げを図る経済対策を検討します